

Japanese Examined Utility Model Publication No.: 56-49564  
Publication Date: November 19, 1981  
Title of the Invention: T-shaped razor  
Application No.: 53-72303  
Date of Application: May 30, 1978  
Applicant(s): K.K. Kaijirushi Hamono Center  
Inventor(s): Tamoru Asano

**Abstract:**

A razor has a plastic handle extending in the longitudinal direction and a razor head extending in a direction orthogonal to the handle and a fitting body for providing a weighty feeling when the razor is used as a set with the handle. The fitting body is made of a material obtained by mixing metallic powder with a metal, ceramic, glass, or plastic.

## ⑫ 実用新案公報 (Y2) 昭 56-49564

⑬ Int.Cl.<sup>3</sup>  
B 26 B 21/52識別記号  
7041-3 C序内整理番号  
7041-3 C

⑭⑮公告 昭和 56 年(1981)11 月 19 日

(全 2 頁)

1

2

## ⑯ T型カミソリ

⑰ 実願 昭 53-72303  
 ⑱ 出願 昭 53(1978)5 月 30 日  
 公開 昭 54-175990  
 ⑲ 昭 54(1979)12 月 12 日  
 ⑳ 考案者 浅野 多茂留  
 関市千年町 2 丁目 5 番地  
 ㉑ 出願人 株式会社貝印刃物センター  
 関市千年町二丁目 5 番地  
 ㉒ 代理人 弁理士 石田 晋一

## ㉓ 実用新案登録請求の範囲

ハンドル 1 の下端から延長方向に穿設した割り溝 2 の形成側板部 3,3 の内側に突条板部 4,4 とこれに連続する内奥板部 5 とを形成し、且つ突条板部 4,4 に係止凹部 6 又は係止突部 7 を形成し、重量感を有する素材で形成した嵌合体 8 に芯板部 9 と嵌合板部 10,10 とを形成し、且つ芯板部 9 の両側に係止突部 7' 又は係止凹部 6' を形成して、嵌合体 8 をハンドル下端からハンドル 1 内に嵌挿して嵌合板部 10,10 を内奥板部 5 に嵌合し且つ係止突部 7' 又は係止凹部 6' を係止凹部 6 又は係止突部 7 に係止して嵌合体 8 をハンドル 1 に装着して成る T 型カミソリ。

## 考案の詳細な説明

本考案はハンドル 1 の下端から延長方向に穿設した割り溝 2 の形成側板部 3,3 の内側に突条板部 4,4 とこれに連続する内奥板部 5 とを形成し、且つ突条板部 4,4 に係止凹部 6 又は係止突部 7 を形成し、重量感を有する素材で形成した嵌合体 8 に芯板部 9 と嵌合板部 10,10 とを形成し、且つ芯板部 9 の両側に係止突部 7' 又は係止凹部 6' を形成して、嵌合体 8 をハンドル下端からハンドル 1 内に嵌挿して嵌合板部 10,10 を内奥板部 5 に嵌合し且つ係止突部 7' 又は係止凹部 6' を係止凹部 6 又は係止突部 7 に係止して嵌合体 8 をハンドル 1 に装着して成る T 型カミソリ。

て、嵌合体 8 をハンドル下端からハンドル 1 内に嵌挿して嵌合板部 10,10 を内奥板部 5 に嵌合し且つ係止突部 7' 又は係止凹部 6' を係止凹部 6 又は係止突部 7 に係止して嵌合体 8 をハンドル 1 に装着して成る T 型カミソリに係り、T 型カミソリに所望の重量感を附与してひげ剃り動作を円滑快適に行なわしめ、且つそのためのハンドルを接着剤等を要せずに簡便に組立てうるようにすることを目的とするものである。

10 尚、嵌合体 8 は金属、陶磁器、ガラス、プラスチックに金属粉を混入した素材等で形成して所望の重量感を附与するものとする。11 は刃体 12 を固定したカミソリヘッド、13 はホルダーである。ハンドル本体はプラスチック製とする。

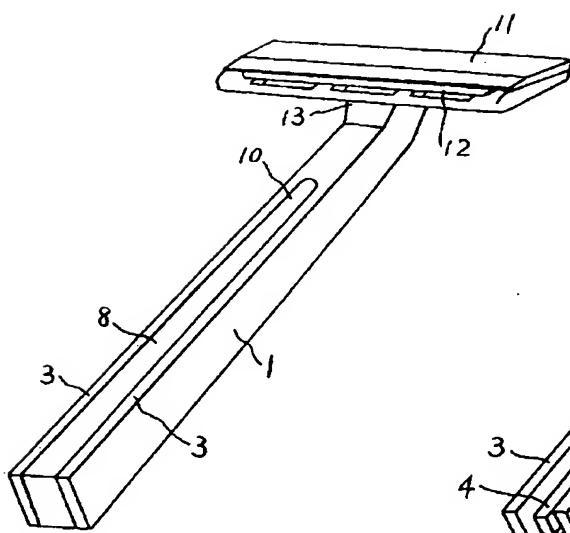
15 本考案は前記のような構成であるから、ハンドル 1 内に嵌合体 8 を装着して重量感を附与することにより、ひげ剃り動作を円滑快適に行なうことができる、T 型軽便カミソリの使用取扱に適し甚だ便利となる。又、嵌合体 8 はその芯板部 9 が突条板部 4,4 間に嵌入して嵌合板部 10,10 が内奥板部 5 に嵌合し且つ係止突部 7' 又は係止凹部 6' が係止凹部 6 又は係止突部 7 に係止して装着されるので、ハンドル 1 に適確に固定されて、接着剤等を要せずに簡便に組立を完了しうる効果がある。

## ㉔ 図面の簡単な説明

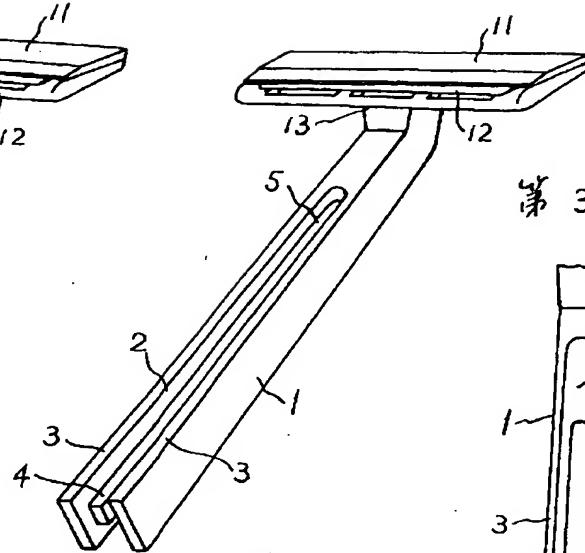
第 1 図は全体の斜面図、第 2 図はカミソリ本体の斜面図、第 3 図はハンドルの正面図、第 4 図はハンドル下部の一部斜面図、第 5 図は嵌合体の斜面図、第 6 図は同上の A-A 断面図、第 7 図はハンドルと嵌合体の他の実施例図である。

主要符号、1 はハンドル、2 は割り溝、4 は突条板部、5 は内奥板部、6,6' は係止凹部、7,7' は係止突部、8 は嵌合体、9 は芯板部、10 は嵌合板部である。

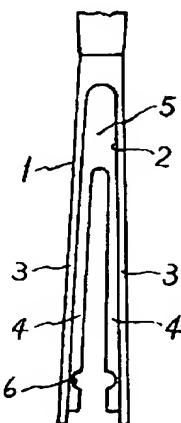
第1図



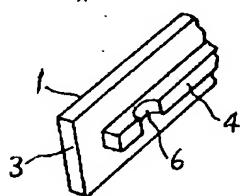
第2図



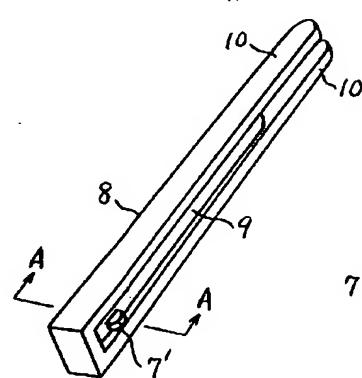
第3図



第4図



第5図



第6図



第7図

